

平成21年1月26日

各 位

上場会社名	株式会社メルコホールディングス
代表者	代表取締役社長 牧 誠
(コード番号)	6676)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 松尾 民男
(TEL)	052-251-6891)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	140,000	5,000	5,000	2,700	116.75
今回発表予想(B)	120,000	2,100	2,100	900	38.91
増減額(B-A)	20,000	2,900	2,900	1,800	
増減率(%)	14.3	58.0	58.0	66.7	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	139,571	5,232	5,439	3,615	156.74

修正の理由

世界的な金融危機の影響が实体经济に及ぼす影響は予想以上に大きく、今や世界経済は同時不況の様相を呈しています。わが国経済は当第3四半期(10月～12月)に入り、外需不振と円高の直撃を受け、月を追って厳しさを増し消費者心理は一段と冷え込みました。今後、短時日での回復は見込めず景気停滞の長期化による当社グループ業績への影響は避けられないと思われま

当社グループの当第3四半期の業績は販売店各社が流通在庫の圧縮に動いたこともあり、パソコン関連製品の市場停滞を越えて急速に落ち込みました。また、世界的なパソコン需要の減少と円高の進行により、輸入部品の価格が下落し当社の部品在庫に評価損が発生しました。さらに、製品販売価格の低下により在庫補償金額が増加するなど減益要因が重なりました。第4四半期についてはこのような減益要因の重複は緩和されるものの市場の回復は楽観視できません。

こうした外部環境の急変に迅速に対応し、製品戦略の強化とともに、原価低減と経費削減により価格競争力を高めシェアアップに努めます。さらに、今後予測される更なる市場環境の悪化に対し、生き残りをかけた体質強化を進めています。

以上により業績予想を修正します。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上